

箱根組ニュース

第299号 2017年 11月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

秋雨前線の小雨煙る、黒川の谷戸から栗木緑地の尾根を歩く。豊かな秋の実りの里山だった。

10月15日(日)、数日前から急に気温が下がって晩秋のような気配の日だった。

小田急線新宿駅発7時21分の急行小田原行きに乗車。新百合ヶ丘で唐木田行きに乗り換え、黒川駅に7時57分着。駅のホームからのぞくと外は弱い雨が降っている。昼過ぎまで雨の予報なので、ホームで合羽を着用しスパッツも付けて完全装備で外に出る。

南口の階段を降りたところでストレッチをする。

8時25分、傘も差して歩き出す。まずは線路に沿って右方向に進む。突き当たってすぐ左に南黒川第2公園に入る。ここは川崎市麻生区南黒川と書いてある。黒川は稲城市、多摩市、町田市と接しているらしい。公園内の道で神山さんが転んだが大事には至らなかったようだ。かえって膝の調子が良くなったと、もしかして奇跡が起ったかもしれない。公園から下に下り、大通りを右に行くと大きな黒川交差点。これを渡り左に進む。こ

こは鶴川街道。左側に蕎麦屋、右のローソンを通過する。その先、日影バス停を右に曲がる。正面のシャッターに麻生消防団団員募集と赤い大きな文字で書かれている。柿生分団・黒川班とある。

すぐ横の一段高いところに汁守神社。変わった名前のこの神社は黒川地区の鎮守で府中大國魂神社に備える汁物を調整していたので「汁盛」とも呼ぶらしい、歴史を感じる。

道路を渡って右に行く。柿畑の横を左に入ってゆく。美味しそうな柿が手の届きそうなどころにたわわに実っている。コスモスも咲いている。続くのは梨畑。そしてまた柿の畑。

道は左に広い道が分かれているがそのまま右方向に進む。里山の風景に入ってゆく。竹林と谷戸田の景色が始まる。住宅地から突然昔懐かしい景色に代わる。稲刈りが終わった田んぼには刈り取られた稲の束が横木に長くかけられ自然乾燥させられている。

珍しい綿花の白い綿が道端で見られ



た。道は細くなり竹林の間の緑のトンネルを抜けると、右側に広い公園があり右方向は新しい住宅地だ。ここは麻生区はるひ野。保護によつて奇跡的に谷戸田が守られていると聞いたがまさに右は宅地、左は昔ながらの里山だ。

また、すぐに細い道になる。真つ赤な烏瓜が沢山連なっている。右側は栗畑、左側は木々が密集した森になっている。セイタカアワダチソウの黄色が目立つ。このところの低温もあつてか、木々も少し色づき始めている。

8時50分、森に入つてゆく。深い山にきているような錯覚になるが、すぐに抜けて右下には広く住宅地が広がる。川名さんによると晴れていれば奥多摩方面の山々が広がるのか。

少し下つてゆくと、住宅地横に道は接

現在の収支	
繰越収入	40152 円
支出	0 円
切手購入	372 円
印刷費	1000 円
コピー代	400 円
現在高	38380 円

切手残数
82円切手
40円切手
259枚
131枚

する。小さな児童公園の横を抜ける。白いうさぎの乗り物が小雨に濡れている。このあたりは横に森のあるすみやすそうな住宅地だ。住宅の切れたところに

「黒川よこみね緑地」とある。本格的な森の中に入つてゆく。

9時5分、道が二又になり、右側の尾根に向かう道を緩やかに登つてゆく。ジグザグに登つてゆくと尾根の分岐になり右へ行く。

9時15分、この日の最高地点、川崎市の最高地点の標高144.5mの諏訪ヶ岳に到着。

ここは多摩よこやまの道（全長約10km）のルート上で、多摩丘陵の尾根に位置している。黒川の名前の由来は川の水が澄んでいて川底が黒く見えたため、そしてこの地区ではクヌギやコナラなどで黒川炭と言われる炭を作っていたとの事。

記念撮影をして尾根を戻る。緑の森を緩やかに下つてゆく。

9時23分、右側に水道施設が現れる。川崎市上下水道局、黒川高区配水池とある。森を抜けると右側に畑が広がっている。ムラサキシキブ

11月19日（日）は丹沢の高松山（801.4m）です。
レギュラーコース 歩行3時間45分
小田急線新松田から西丹沢行きバスで高松山入口下車。ここから歩きます。下山は尺里峠経由で田代向バス停に下ります。

○持ち物 昼食、飲料水、非常食、食器、箸、カップ、雨具、傘、スパッツ、タオル、着替え、ヘッドランプ（予備電池）、地図、筆記用具、救急薬品（三角巾、包帯、痛み止めスプレーなど）、健康保険証、ビニール袋、ちり紙（ロールペーパー）、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他、山と高原地図登山装備表などを参考に。

●申し込みは11月17日（金）までに

集合 11月19日（日）

小田急線新宿駅 6:51発

急行小田原行き（前から3両目）

途中駅発

代々木上原 6:56 下北沢 6:59

経堂 7:03 成城学園前 7:07 登戸 7:10

新百合ヶ丘 7:18 町田 7:27

相模大野 7:33 海老名 7:41

新松田 8:14着（新宿～新松田780円）

西丹沢行きバスに乗換 8:25発

高松山入口 8:45着（料金290円）

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

http://www.geocities.jp/hakonegumi1991/



が鮮やかな色の実を付けている。右側には街並みが広がり、左は武蔵野の森。9時32分、尾根と

畑の向こうにはまだ刈り取られていない黄金色の稲が台風の影響か少し倒れかけている。コスモスの花が咲いている。そしてまた谷の真ん中の道に戻る。このあたりは谷が広くなり田んぼもかなり大きい。
10時10分、右方向に曲がり谷の右側の山に入ってゆく。登ってゆくと柿が鈴生りに生っている。山沿い左方向に進むと立派な大きな家が数軒立っている。常照寺の駐車場看板を過ぎると道はピークを越える。樹木葬墓地桜の里のノボリがなびいている。右側に町田いずみ浄苑の看板がある。大きな墓地の様だ。

別れ左の道に入ってゆく。ここには標識はないので下見は難しかったと思う。赤土の道だがそれほど滑らない。これを緩やかに下ってゆく。
9時38分、里に出る。畑や田んぼが連なり谷はだんだん広くなってゆく。これが谷戸田だ。刈り取られた稲が沢山干されている。9時50分、谷の真ん中の道から左の山沿いの細い道にそれて歩く。畑にはキャベツやダイコン、ハクサイなどが植えられている。きれいなお茶の花が咲いている。左側の木々には烏瓜が沢山赤や緑の実を付けている。このあたりではあまり作られていないリンゴがたわわに実を付けている。サツマイモ



入谷戸のバス停を過ぎ。右のお寺の前の信号を左に渡る。

10時23分、真光寺公園の入口に到着。

10時半前、周囲の芝生のきれいな東屋に到着。かなり早いがここで昼食の準備。と言っても早すぎるのでまずコーヒータム。そしてそのまま昼食の宴会になる。雨はしよぼしよぼ降り続けている。東屋のおかげでいつも通りの持ち寄りの豪華なメニューが並ぶ。この日はひじきの煮ものが3種類揃った、味比べで楽しむ。好みもあり順番はつけられなかった。太田さんの干物あり、川名さんの熱燗も飲み干し、神吉さんの梅酒にも手が伸びる。豚汁もいい具合に出来上がった。たっぷり3時間の宴会を終了し、1時25分歩き出す。丸い芝生を上り、梅林を通過。気持ちのいい自然林を抜け尾根道を進む。

1時53分、右側に街並みが広がる。いったん車道を横切り、また山道に入ってゆく。町田市立鶴川台尾根緑地と看板がある。栗木山王山特別緑地保全地区の看板もある。足元にはどんぐりがいっぱい。みかん畑の横にはコスモスがカラフルに咲いている。2時過ぎ住宅地に下りる。

2時26分、栗平駅に到着。

